

7章

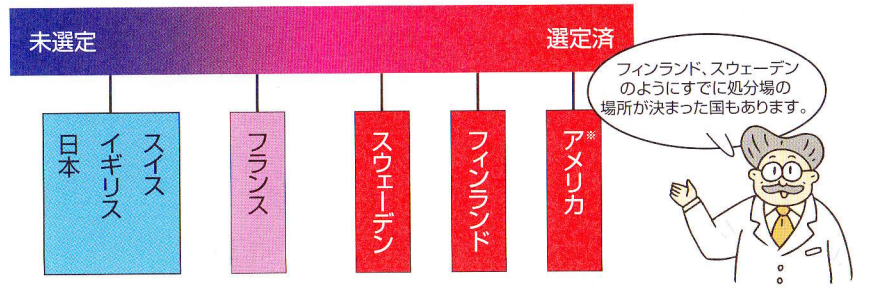
地層処分に関する 海外の状況

高レベル放射性廃棄物の地層処分場はまだ世界中のどこにも建設されていませんが、処分場の候補地が決まった国はすでにあります。地層処分計画を進めている国のうち比較的進んでいるフィンランド、スウェーデン、アメリカ、フランス、スイス、日本、イギリスの7カ国の状況は次のとおりです(2009年8月現在)。

- ・処分場の候補地が選定された国：フィンランド、スウェーデン、アメリカ
- ・地下研究所での調査が進められ、その近くで候補地の選定がされようとしている国：フランス
- ・実施主体が提案した地域を対象に今後選定が行われる国：スイス
- ・候補地を募集している国：日本、イギリス

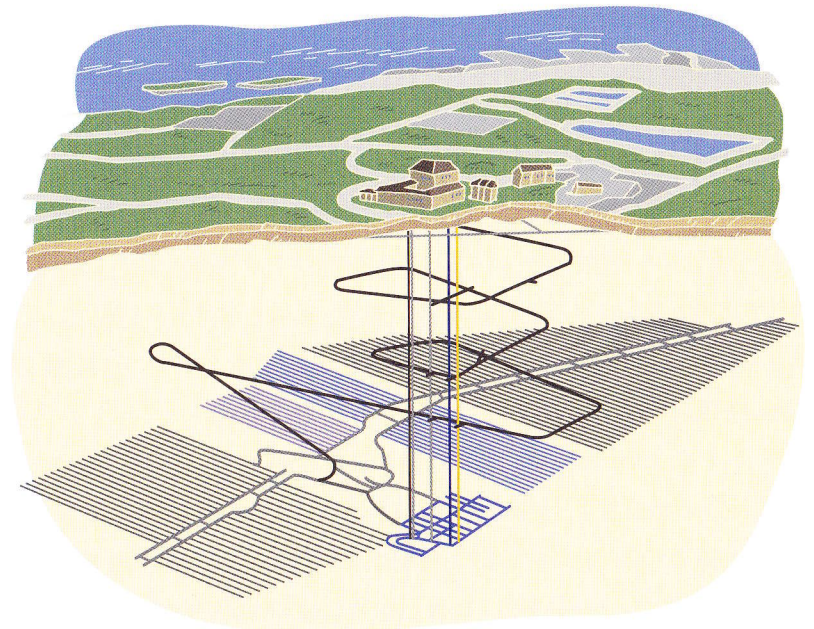
一方、アメリカでは国防活動から発生するTRU廃棄物の処理施設として廃棄物隔離パイロットプラント(WIPP)が1999年より操業を開始しています。

処分地の選定



※アメリカは処分場の場所が決まり、処分場建設のための許可申請が規制当局に提出されたものの、計画見直しのための議論がなされている。

フィンランドの処分場概念図



(フィンランドPOSIVA社のホームページをもとに作成)